

2022年4月以降不妊治療検査希望で当院初診となる皆様へ

2022年4月以降不妊治療は保険適応となり皆様の経済的な負担が大幅に軽減される事になります。

但し制度は厳格かつ複雑で、皆様の希望・理想とする形で治療を行えないこともありますので、何卒ご理解頂きたいと思います。

また初回の治療計画の説明に当たっては、原則として夫及びパートナーの同席が必須となっております。

そのため、当院ではご主人様同席外来枠（完全予約制）を設けましたので、こちらを活用して頂きたいと思います。

もしご夫婦でスケジュールが合わない場合は奥様お一人で構いませんが、その際にご来院になれない理由をお聞かせ頂く事をご了承ください。

例1. 混合診療は厳禁

初診時に保険で検査を行った場合は、以後保険適応以外の検査は一切禁止となります。

例2 初めて受診されたその日から必ずしもこの制度が適用されるわけではありません。

初診時に医師から治療計画の説明を受け納得し、諸々の書類にご夫婦の署名をして頂き、それらが全て揃ってからこの制度のスタートとなります。

例3 2022年4月以降に保険で行った移植回数は正確に医療施設、医師に伝えなければならず、もし虚偽の回数を申告し、回数制限を超えている場合は保険の不正請求の扱いになります。

一般不妊治療からの開始を希望する方々

今後の治療計画を説明後に、不妊治療に必須ですが保険適応外となる検査があるため、初診時の診察・検査は自費とさせて頂きたいと思います。（初診時お話しのみ希望の方も同じです）。

但し他院で全ての検査がお済みの方は、初診時より保険適応となります。

初診時、以下の検査を自費でお願い致します。

尚、他院で済んでいる検査は行いません。

初診料（自費）2,000円（税抜）

検査代合計16,200円（税抜）

※精子検査は初診時に行えません。

前日までの予約制になりますのでご注意ください。

1. 抗ミュラー管ホルモン (AMH)・・・価格**5,000**円 (税抜)
AMHは月経周期内の値がほぼ一定しているため、卵巣の予備能をより正確に評価できる有効な指標です。
高度生殖医療 (体外受精等) を予定している方には保険適応となっておりますが、一般不妊検査においては保険適応外となります。
2. 精子検査・・・価格**6,000**円 (税抜) **要予約**
保険で可能な精子検査は判定できる項目が少なく、今後の治療計画の評価が難しいと考えております。
当院では最新の検査機器を用いて結果を評価し解析を行うことにより、より正確な今後の治療計画を提案することが可能となっております。
次の再診日までに受けて頂きます。
3. 性感染症、血液型・・・価格**8,000**円 (税抜)
性交渉を指導するうえでパートナーへの二次感染を防ぐ意味でも、お子様の安全な誕生の為にも必要と考えております。
高度生殖医療で採卵を予定している方には術前検査の為、保険適応となりますが一般不妊検査においては保険適応外となります。
4. 風疹抗体検査・・・価格**3,200**円 (税抜)
抗体のできていない妊婦が風疹に感染すると、高い確率で生まれてくる子供が**先天性風疹症候群**で重度な障害を残します。
抗体価が低い場合には当院で風疹ワクチンを打つことが可能です。
ワクチンは自費ですのでその日までは自費となります。

以下の検査は保険適応ですので初診日以降に行います。

1. 超音波、子宮頸癌検査、クラミジア抗原検査
2. ホルモン基礎値 (FSH, LH, E2, PRL, TSH, FT3, FT4) : 月経周期2~5日目
3. 子宮卵管造影検査 : 月経周期6~10日目 別紙参照 **要予約**
4. 黄体期ホルモン検査 (E2, P4) : 排卵後5~7日目
5. 排卵日確認検査 : 超音波卵胞測定、頸管粘液検査、ホルモン検査 (LH, E2)

高度生殖医療からの開始を希望する方々

初診時のみ自費とさせて頂き今後の治療計画を説明後、必要な場合に保険適応外の風疹検査、後日の精子検査の説明があります (他院で検査済みの場合は行いません)。
但し他院で検査がお済みの方は初診時より保険適応となります。
後日下記の保険検査があります。

1. 性感染症は採卵前の術前検査の扱いになり保険となります。」
2. AMHは年に2回保険での検査が可能となります。